

1. 皆さん、こんばんは。岩本です。今の国会の惨状は、安倍ワンダーランドというしかありません。ディズニーランドが「夢と魔法の王国」ならば、安倍ワンダーランドはさしずめ、「悪夢と詐欺の魔界」でしょうか。憲法 41 条は、「国会は国権の最高機関」と規定しています。この憲法の言葉が本当にむなしく聞こえます。
2. 「最高機関」という言葉には、国会は三権の中でもとりわけ敬意を払われるべき組織であるという意味がこめられています。その理由は大きく 2 つあります。第 1 に、国会は、国家の政策や活動を推進していくための源となる法律を作る権限を有しているからです。第 2 に、国会は国民から選ばれた議員からなる、国民の代表機関であり、三権の中で一番国民に近い組織だからです。
3. しかし、現在の国会は、国権の最高機関とはかけ離れています。現在開かれている 196 回通常国会で、政府はいまのところ 61 本の法案を提出していますが、3 月末の段階で、1 本も成立していません。政府与党は、審議拒否をする野党の責任を声高に叫んでいますが、モリ・カケ問題、裁量労働制に関するデータ改竄、自衛隊の日報問題と、国会を愚弄し続けてきたのは、まさに政府与党です。
4. また、今の国会は、私たち国民の声がまったく届かない遠い存在です。国会をハイジャックした安倍政権が、誰のほうを見て政治をしているか、はっきりわかるデータがあります。ロイター企業調査によれば、資本金 10 億円以上の企業で調査に回答した約 200 社のうち、7 割を超える企業が、〈安倍首相が自民党総裁に 3 選されることが望ましい〉と答えたそうです。そして、6 割が安倍首相の続投を支持しているといいます。各種世論調査で、政権支持率が軒並み 3 割台に落ち込む中で、にわかには信じがたい数字です。安倍首相が進めるアベノミクスは、国民ではなく、大企業と一部金持ち優遇の政策であることを示しています。
5. 明治憲法の初期、天皇によって任命された大臣からなる内閣は、国民や議会ではなく、天皇に責任を負うものとされました。当時の内閣は、国民や帝国議会がどんなに内閣を批判しようが気にしませんでした。このような体制は「超然内閣制」と呼ばれます。今の安倍政権は、現代版の「超然内閣」と言っているのではないのでしょうか。安倍政権は、大企業や金持ち、そしてアメリカさん以外には何ら責任を負っていないかに見えます。財界が待望する「働かせ改革」を混乱する国会でしゃにむに強行成立させようとすることに現れています。
6. 私はいま恐れていることがあります。先頃フランスのマクロン大統領が国賓として、アメリカに招かれました。このときのマクロン大統領に対するトランプ大統領の厚遇ぶりを見て、安倍首相は密かに悔しがっているでしょう。安倍首相は、マクロン大統領に対するアメリカのもてなしは、シリアへの共同の攻撃に対する感謝だと、勘違いしているのではないか。やっぱり、アメリカに気に入ってもらうためには、海外でも武力行使をしなければ。そのためには、憲法 9 条を改正しなければ。単純な人なので、そう考えているに違いありません。こんな妄想の中で生きている首相は直ちに退陣させなければなりません。今日も、安倍退陣を求めて頑張って声を上げましょう。本日はどうもありがとうございました。